

協会認定
製品セ
製電
家認

スマートマスター535人合格

混沌とした時代に対応 新たな課題も加わる



森 センター長

家電製品協会認定センターが9月に実施した、東京都府県1114カ所の店マートハウスのプロフェッショナル育成を目的とした「スマートマスター」試験の合格者は535人だった。今回、初めてCBT（オンラインテスト）方式で行われた。合格者には11月1日付で認定証が交付され、スマートマスター資格保有者は総

スマートマスター認定証

認定証
スマートマスター



氏名 家電 太郎

交付 2016年11月01日
有効期限 2021年10月31日

登録番号 第S160000001号

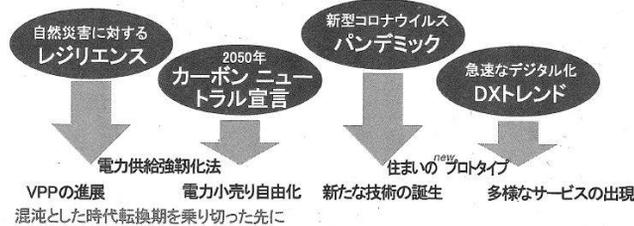
一般財団法人
家電製品協会
TEL 03-6341-5609

計7580人となった。47都道府県1114カ所の店舗やオフィスで活躍している。ニーズに合ったスマートハウス構築支援を保証

16年に導入されたスマートマスター制度を、森拓生センター長は「話題のスマートハウスに関する広範囲な専門知識を習得した人材に付与される日本初の厳正な資格認定制度としてスタートした。家の構造・性能、家電製品、住宅設備、エネルギーマネジメントも含め、技術や商品動向を理解していることが求められる。さらに、横断的な知識で製品やサービスを組み合わせ、消費者個々のニーズに合ったスマートハウス構築支援ができることを保証する資格だ」と説明する。

■混沌とした時代に新たな課題も

環境変化によるスマートマスターへの新たな課題



混沌とした時代転換期を乗り切った先に
新たなライフスタイル 新たなビジネススタイル
混沌とした時代における「住まい」と「暮らし」のナビゲーター

スマートマスター

スマートマスターはスマートハウス普及を推進し、暮らしを「快適」にするためのサポートを行います

スマートハウスの性能

安全・安心・快適の実現

エネルギー課題に対応

先進家電製品

住まいの施工と法制

新技術と新サービス

な課題も
森センター長は「CO2削減目標実現に向けた

ZEH（ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス）の普及と、少子高齢化による介護や独居老人対策、ホーム

セキュリティ強化など住宅のインテリジェント化が、スマートマスターの導入背景と目的」とし、「そこに、今、世界が体験しているダイナミックな環境変化による、混沌（こんとん）とした時代変化に対応するための新課題も加わってきた」と強調する（図参照）。さらに「自然災害に対する対応力や修復力などレジリエンスの強化、50年までに温室効果ガスの排出をゼロにするカーボンニュートラル宣言、新型コロナウイルスによる生活環境の変化、速度を上げたDXトレンドなど、スマートハウスが解決すべき喫緊の課題が目の前にある。新たなライフスタイルと新たなビジネススタイルに対応した、混沌とした時代における住まいと暮らしのナビゲーター

が、新時代のスマートマスターの姿になる」と森センター長。

今回のスマートマスター試験は21年3月14日にCBT方式で行われる。全国280カ所以上の試験場（テストセンター）から、受験者の都合に合わせて受験地や日時を選択できる。

新時代に対応した学習テキストとして「スマートマスター スマート化する住まいと暮らしのスペシャリスト」「スマートマスター資格問題&解説集」が用意されており、全国の書店などで購入可能だ。

「スマートマスターがいるお店・オフィス 全国一覧表」は次のサイトで閲覧できる。 <https://www.aech.or.jp/ninter/center/consultant/smartmaster/consulting/>